



平成30年度 主要施策概要（予算説明書）

よくわかることしの中標津づくり



ごあいさつ

町民の皆さんには、日頃から町政運営に対して深いご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。このたび、平成30年度に実施する町の事業を皆さんにわかりやすくお知らせし、町政に対して更に理解をいただくために、主要施策概要『よくわかることしの中標津づくり』をお届けします。

今年度は「第6期中標津町総合発展計画・後期基本計画」の3年目の年として、町民の皆さんの意識や社会経済情勢の変化を的確に捉えるとともに、行財政改革と財政健全化の視点に立ち、施策本来の目的を再認識し、優先度や効果を十分検討した予算内容としております。

私の政策の基本となる考え方は利便性が高く住みやすい「中標津らしさ」を維持し、「住みやすさNo.1のまち」を目指すことです。人口減少が進む中、これからも根室地域の中核都市として発展を続けていくためには、真に必要な事業を見極め、町民にしっかりと寄り添った施策を推進するとともに、これまでの施策の成果を検証し、さらに磨き上げ、政策の効果を高めることが重要であると考えております。そのために、常に町民の皆さんと会話・議論をし、様々な課題の解決に決断力をもって取り組んでまいります。そして、「あつまるまち・つながるまち・ひろがるまち」として存在できるよう、バランスの良いまちづくりを進めてまいります。

今後のまちづくりにおいては、町民と行政がより一層連携し、協力し合い、共に知恵を出して行動する協働の取組みが必要です。本書が皆さんのまちづくりの議論や活動の素材として、ご活用いただけることを願っております。

平成30年4月

中標津町長 西 村 穂



ことしの予算の全体像

◇ 平成30年度予算について

今年度の予算編成は、第6期中標津町総合発展計画の後期基本計画と具体的・重点的施策として策定された中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図り、住みやすさ No.1 を目指した予算編成としました。

〈予算額〉

| 会計区分 | | 30年度予算額 | 29年度予算額 | 伸率 |
|---------------|--------------|-------------|-------------|--------|
| 一般会計(A) | | 137億3,700万円 | 130億3,400万円 | 5.4% |
| 特別会計 | 国民健康保険事業特別会計 | 25億722万円 | 30億2,005万円 | △17.0% |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 2億6,701万円 | 2億4,483万円 | 9.1% |
| | 介護保険事業特別会計 | 14億9,933万円 | 14億6,730万円 | 2.2% |
| | 町営牧場特別会計 | 8,511万円 | 6,585万円 | 29.3% |
| | 下水道事業特別会計 | 10億7,779万円 | 11億9,439万円 | △9.8% |
| | 簡易水道事業特別会計 | 6億514万円 | 6億2,472万円 | △3.1% |
| 小計(B) | | 60億4,160万円 | 66億1,714万円 | △8.7% |
| 企業会計 | 病院事業会計(C) | 48億491万円 | 47億4,116万円 | 1.3% |
| | 水道事業会計(D) | 8億7,355万円 | 8億8,227万円 | △1.0% |
| 予算総額(A+B+C+D) | | 254億5,706万円 | 252億7,457万円 | 0.7% |

◇ 一般会計予算を家計簿に例えると

| 1年間の収入 137億3,700万円 | | 1年間の支出 137億3,700万円 | |
|--------------------------------|-------------|------------------------------|------------|
| 町税(給料) | 31億2,664万円 | 人件費(生活費) | 19億5,354万円 |
| 地方交付税・各種譲与税・補助金等 (実家等からの支援) | 72億8,883万円 | 扶助費(年金掛金、医療費) | 11億2,390万円 |
| 分担金・負担金・使用料・手数料・ 寄附金(臨時収入) | 6億3,557万円 | 公債費(ローン返済金) | 15億9,231万円 |
| 財産収入(不動産収入) | 6,377万円 | 物件費・維持補修費 (被服費、消耗品、修繕、除雪) | 23億4,114万円 |
| 諸収入(株式配当等) | 1億2,323万円 | 補助費等(各種団体、病院、 下水道等への支援) | 30億1,072万円 |
| 町債(ローン) | 17億9,370万円 | 積立金(貯金) | 1億2,339万円 |
| 給料等収入の計 | 130億3,174万円 | 繰出金(仕送り) | 11億9,939万円 |
| 繰入金(貯金の取崩し) | 7億526万円 | 普通建設事業等 (家の建替え、車等の購入) | 20億2,652万円 |
| | | その他(雑費) | 3億6,609万円 |

| | 平成28年度 | 平成29年度(見込) | 平成30年度(見込) |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 基金(貯金)残高 | 36億4,907万円 | 32億1,934万円 | 26億3,692万円 |
| 借入金(借金)残高 | 181億6,942万円 | 181億6,690万円 | 188億5,524万円 |

中標津町では給料や実家等からの支援、また決まりに沿ったローンなどにより1年間で130億3,174万円の給与収入等がありますが、これでは1年間に使うお金が足りないので、貯金から不足分の7億526万円を貯めています。

しかし、最近では計根別学園や総合体育館の建設などにより借金が増え、施設の老朽化による必要な修繕などにも経費がかかり、貯金が減っている傾向にあります。

今後も借金・ローン返済・貯金のバランスを考慮し、持続可能な財政運営を図る必要があります。

ことしの事業概要について

第6期総合発展計画では、まちづくりの基本理念として「自然と暮らし」、「中標津らしさ」、「連携と協働」を掲げ、まちの将来像である「空とみどりの交流拠点・中標津」の実現に向け、6つの分野からなる基本目標の達成のため各種施策に取り組んでいきます。平成30年度で取り組む全285事業のうち、179事業を抜粋してお知らせします。

基本目標1 ~参画と協働で未来を築くまちづくり~

【協働のまちづくりの推進】

自治基本条例推進事業 (企画課)

20万円
町20万円

自治基本条例は、まちづくりを推進するための基本理念や役割分担などを定めた自治体の最高規範です。自治推進会議を開催し、町民・議会・行政の条例遵守の状況を検証、条例の運用状況などを議論します。

◇自治推進会議の開催 他

上段:事業費

下段:町負担額
※事業費の内数

フロンティア事業推進補助 (経済振興課)

50万円
町50万円

フロンティア基金を活用し、地域活動のリーダー育成や住民参加のまちづくりの推進を目的に町民が取り組む事業など、自主的な活動に要する経費の一部を補助します。(人材育成事業、交流推進事業、コミュニティ推進事業、地域・産業おこし事業 他)

協働のまちづくり推進事業 (企画課)

55万円
町55万円

「まちづくりの主役は町民である」という原点に返り、町民と行政がともに考え行動し、お互いの理解を深めながら「協働で進めるまちづくり」の実現に取り組みます。

◇企業・町内会・町民活動団体などの社会貢献活動への支援 他

【コミュニティの育成】

町内会活動の支援 (生活課)

1,289万円
町1,289万円

全町内会連合会補助 (689万円)

運営費補助及び全町連だより発行支援を行い、コミュニティ活動を促進します。

会館建設事業補助 (600万円)

町内会館の建設費の一部を補助します。(まこと町内会館)

集落振興のための経費 (経済振興課)

62万円
町62万円

計根別地域振興補助

計根別における地域コミュニティの活性化を図る活動経費に対し補助を行い、人々の交流を通して、温もりのある住みよい生活環境と、地域の豊かさを感じられる地域社会の構築を目指します。



【コミュニティの育成】

移住促進事業 (経済振興課)

387万円
町237万円

町の受入体制整備や情報発信を行い、移住を検討されている方を対象とした「お試し暮らし」などの移住促進事業に取り組み、交流人口拡大と地域経済活性化を図ります。

地域間交流のための経費 (企画課・経済振興課)

290万円
町290万円

地域間交流促進事業 (190万円)

友好都市の川崎市などとの交流事業や首都圏との交流人口の拡大に向けて、東京・札幌中標津会と連携し、その活動費補助を行います。

魅力発信交流事業 (100万円)

大学ゼミ・サークルなどを町に招き、町民との交流活動を通じて地域課題を学び、次世代を担う地域の人材育成を図ります。(大学生等の活動経費の一部補助、大学へのPR)

【北方領土対策の推進】

北方領土対策のための経費 (企画課)

1,528万円
町108万円

北方四島医療支援事業 (1,390万円)

外務省が実施する北方四島住民人道支援事業に協力し、北方領土在住ロシア人患者を町立中標津病院で受け入れます。



北方領土返還対策事業 (138万円)

北方領土問題の啓発を図り返還運動を推進するとともに、ビザなし交流による北方四島在住ロシア人との交流を通じ、相互理解の促進を図ります。また、日露政府が進める共同経済活動に対し、隣接地域として積極的に取り組んでいきます。

計画的な行政経営の推進】

町有建築物解体整備のための経費 (建設管理課・教委管理課)

3,694万円
町3,694万円

町内の老朽化した公共施設や教職員住宅等を計画的に解体します。

◇機械センター資材倉庫解体、教職員住宅23棟解体

社会保障・税番号制度経費 (総務課・住民保険課)

699万円
町461万円

通知カード・個人番号カードの発行を行なうほか、4月よりマイナンバーカードを利用した住民票・印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスを導入し、利便性の向上を図ります。

根室管内市町村連携協定事業 (企画課・農林課・経済振興課)

550万円
町50万円

人口が減少するなか、自治体が行政サービスを維持し効率的に提供するためには、近隣市町村との地域間・政策間連携が重要となることから、昨年根室管内1市4町で「根室管内市町村連携協定」を締結しました。今年度は下の5事業を連携して取り組みます。※○のついた事業は他の掲載事業と重複しています。



○新規就業・就農PR事業 (64万円) インカレねむろ推進事業 (100万円)

新・農業人フェアでのPR活動(東京)
大学ゼミの誘致・事業発表、管内高校生との交流

○根室管内教育旅行誘致推進事業 (100万円) ○移住促進事業 (186万円) ○広域連携観光PR事業 (100万円)

訪日教育旅行も視野に入れた誘致活動
就業体験付モニタ移住やPRイベント参加
知床ねむろ観光情報発信強化事業

基本目標2 ~健やかでやさしいまちづくり~

【子育て支援の充実】

子ども・子育て支援事業 (子育て支援室)

1,915万円
町709万円

子どもの年齢や親の就労状況などに応じた子育て世帯への支援を実施します。

- ◇幼稚園型一時預かり事業委託
- ◇一般型一時預かり・ファミリー サポート事業委託
- ◇病児保育事業委託
- ◇子ども家庭総合支援拠点・要保護児童対策事業 他



【子育て支援の充実】

子育て世帯のための扶助 (子育て支援室)

4億3,981万円
町8,461万円

児童手当扶助 (3億9,437万円)

中学校修了までの子どもを対象に支給される手当です。

医療扶助

子育て世帯の医療費を一部補助し経済的負担を軽減します。

- ◇ひとり親家庭等医療扶助 (1,971万円)
- 北海道助成基準【児童】入院・入院外・歯科・調剤 【親】入院町単独基準【親】入院外【医科】・調剤
- ◇乳幼児医療扶助 (2,398万円)
- 【乳幼児】入院・入院外・歯科・調剤 【小学生】入院
- ◇未熟児養育医療扶助 (176万円)

【重症未熟児】診察、薬剤・治療材料、医学的処置、入院・療育看護、移送

【高齢者施策の充実】

新 シルバースポーツセンター改修事業 (福祉課)

4,380万円
町4,380万円

暖房設備更新や、トイレ改修、屋根葺替工事など、施設の環境改善を図ります。

介護人材確保育成支援事業 (介護保険課)

528万円
町528円

居宅・施設サービス事業所が有期雇用契約で雇用し、介護業務等に従事させながら訓練を行う際の賃金や、就業に必要な研修費用を助成します。

また、介護福祉士の資格取得のための受講義務である実務者研修を開催します。

【高齢者施策の充実・障がい者施策の充実】

成年後見事業 (介護保険課・福祉課)

942万円
町239万円

認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるまちを目指します。

【障がい者施策の充実】

障がい者世帯のための扶助・補助 (福祉課)

5億9,061万円
町1億5,354万円

障がい者介護・訓練給付費等扶助事業 (5億5,516万円)

障がい者総合支援法に基づき、障がい者の自立支援などを行います。

◇障がい者介護・訓練等給付、障がい児通所給付、障がい者補装具、障がい者自立支援医療

泉保育園支給認定保育のための経費 (子育て支援室)

8,617万円
町1,637万円

中標津有隣福祉会が運営する泉保育園の運営費・人件費などに対する経費です。

- ◇入所人数90名
- ◇第2子以降の3歳未満児保育料無償化 (所得制限あり)

認可外保育所児童の健康管理費の補助 (子育て支援室)

73万円
町73万円

認可外保育所に入所している児童に対する健康診断及び歯科検診の費用を補助します。

◇認可外保育園児130名

拡 町立保育園運営のための経費 (保育園)

3,557万円
町1,305万円

町立保育園の運営費・人件費です。今年度は待機児童解消に向け0~2歳児の受け入れに対応し定員枠を拡大しています。

- ◇入所人数100名 (90名⇒100名に拡大)
- ◇第2子以降の3歳未満児保育料無償化 (所得制限あり)

※計根別地域の子育て支援拠点整備について

計根別児童館の老朽化対策と併せて、保護者ニーズの高い一時預かり保育事業の実施に向け、民間施設の利活用も視野に入れた協議を行っています。

【高齢者施策の充実】

高齢者の自立への支援 (福祉課)

1,910万円
町1,493万円

高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の基本理念『高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくり』の実現のために、支援を行います。

高齢者支援事業 (791万円)

- ◆長寿者等記念品贈呈、災害時要援護者台帳整備、託老事業補助 (地域ボランティア「中標津つくしの会」)、老人クラブ・連合会への運営費補助、在宅ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業、除雪サービス・ハートコールサービス (独居老人・老夫婦世帯など)

老人福祉施設入所措置費 (1,119万円)

65歳以上で自立生活が困難な方の養護老人ホーム入所生活費です。

介護保険事業特別会計 (介護保険課)

14億9,933万円

◇介護保険事業

- ・第1号被保険者数: 5,933名
- ・要介護認定者数: 830名 (要支援223名、要介護607名)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 (いきいき百歳体操、通所型サービス、認知症初期集中支援チーム設置)
- ・包括的支援事業 他



◇サービス事業

- ・介護予防支援事業所事業運営費

【障がい者施策の充実】

障がい者地域生活支援事業 (福祉課)

1,843万円
町787万円

だれもが生き生きと暮らせる地域社会の実現を目指すため、介護保険の対象となる障がい者や障がい児が適切な支援を受けられる環境の条件整備を行います。

◇訪問入浴サービス事業

◇在宅福祉移送サービス (障がい者等の通院支援)

◇日中一時支援事業 (障がい児(者)の一時預かり支援)

- ◇コミュニケーション支援事業 (手話通訳者派遣)
- ◇障がい者移動支援 (障がい者の外出支援)
- ◇地域活動支援センター事業 (創作・生産活動の機会提供)
- ◇障がい者日常生活用具給付費等扶助

拡 根室圏域障がい者総合相談支援センター事業 (福祉課)

607万円
町152万円

管内の障害のある方の相談支援拠点である「根室圏域障がい者総合相談支援センター」にコーディネーターを設置し、相談支援体制の充実を図ります。



【健康づくりの推進】

社会福祉協議会への補助

(福祉課)

4,262万円

町4,262万円

管理運営費補助 (3,616万円)

地域福祉の向上、高齢者や障がい者などが安心して暮らせる社会のため、広範な福祉活動や福祉サービスを提供する中標津町社会福祉協議会の活動を支援します。

老人福祉居宅介護事業補助 (646万円)

社会福祉協議会の実施する訪問介護・訪問入浴事業を支援します。

町民の健康増進のための費用

(保健センター・生涯学習課)

102万円

町80万円



町民全体が健康的な生活習慣を身につけ、生活習慣病を予防していくとともに、食中毒や熱中症、感染症予防の啓発を図り、地域保健の推進を図ります。（食育教室開催、食育通信発行、食中毒・熱中症・感染症予防啓発）

また、「なかなか健康なかしへつ」の各種健康教室と運動教室等を今年度も総合体育館と連動して実施し、町民の健康づくりの推進と運動実践・運動習慣の定着を図ります。《ふるさと納税活用事業》（体組成測定・健康相談、成長期スポーツ検診、成長期フィジカルチェックほか）

【健康づくりの推進】

特定不妊治療費助成事業

(保健センター)

75万円

町75万円

少子化対策として安心して子どもを産み育てる環境づくりの推進を目的に、特定不妊治療を受けた方の経済的負担の軽減を図ります。治療費が北海道の特定不妊治療費助成分を超えた場合、1回あたり5万円を上限に町独自の助成をします。

各種健康診査・相談等事業

(保健センター)

3,559万円

町3,426万円

◇健康診査・検診

妊婦健康診査・超音波検査、乳幼児健康診査や歯科健康診査、がん検診（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）医療保険未加入者の健康診査、肝炎ウイルス検査

◇相談・指導、家庭訪問

各種相談（妊婦・乳幼児・歯科・栄養・成人等）、新生児訪問

◇教室、学習会の開催

パパママ教室、離乳食教室 他

予防接種等のための経費

(保健センター)

5,245万円

町5,245万円

各種予防接種を行い、感染の恐れがある疾病発生やまん延を予防します。

◇乳幼児（四種混合、麻しん・風しん混合、BCG、不活化ポリオ、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎）

◇小学6年（二種混合）

◇小学3年・中学2年・成人（エキノコックス症検査）

◇高齢者（インフルエンザ、肺炎球菌）

◇乳幼児・9~13歳未満・特例20歳未満（日本脳炎）

【地域医療の充実】

病院事業会計

(町立病院)

48億492万円

町立中標津病院

◇診療科 14科

◇病床数

一般180床、療養19床、人工透析22床

◇医師数 17名（常勤14名、常勤嘱託1名、非常勤2名）

【主要設備・機器整備】

◇医療機械器具等購入 (3,274万円)

◇施設老朽化改修工事 (2,860万円)

直流電源装置更新、医療ガス設備更新



【医療体制の充実】

看護職員等確保対策経費

(町立病院)

663万円

町663万円

町立中標津病院における看護職員の充実を図るため、資金貸付や就職説明会でのPR活動等を行います。

◇医療技術職員養成修学資金貸付金

貸付対象者：助産師、看護師、薬剤師（新規2名・継続3名）

貸付額：助産師 月額20万円
看護師 月額10万円
薬剤師 月額10万円

返還義務免除：資格取得後4年以上当院勤務
返還義務免除：2年以上当院勤務

◇看護職員等確保対策貸付金

貸付対象者：助産師、看護師、准看護師、薬剤師（1名）

貸付額：就業支援資金20万円
住宅準備資金10万円
移転資金上限25万円

【社会保障の充実】

国民健康保険事業特別会計

25億722万円

被保険者見込：5,750名（平均）

※国保制度改革（道への財政運営移管）

◇国保特定健診・保健指導事業

特定健診・特定保健指導の実施、健診自己負担額の無料化、なかなか健康なかしへつキャンペーンの実施 他

◇健康づくり推進事業

国保人間ドック健診、骨粗しょう症検診、歯科疾患予防 他

【社会保障の充実】

後期高齢者医療特別会計

(住民保険課)

2億6,701万円

町1億6,701万円

75歳以上の方と65歳以上で一定の障がいのある方を対象とした医療制度です。（被保険者見込：2,740名）

後期高齢者医療に関する経費

(住民保険課)

1億7,321万円

町1億7,109万円

北海道後期高齢者医療広域連合への負担金です（療養給付費分・健康診査経費分）。健診・骨粗しょう症健診の自己負担額を無料化、人間ドック受診費用への補助を行います。

基本目標3 ～力みなぎる産業のまちづくり～

【農業の振興】

中山間地域等直接支払事業

(農林課)

2億8,114万円

町9,370万円

農業農村の多面的機能の確保を目的に、農業生産性・収益性の向上、生活環境整備等を促進するために、1ha当り15,000円の交付金を交付します。

◇交付対象予定面積

中標津地区：11,820ha
計根別地区：6,883ha
標津地区：21ha



多面的機能支払交付金事業

(農林課)

4,513万円

町1,127万円

農業農村が有している国土保全、景観形成等の多面的な機能が十分に発揮できるよう、水路・農道等の管理を地域で支える共同活動に対して支援し、担い手への農地集積を後押しします。

◇中標津集落：畠1,036ha、草地13,486ha
(農地維持)
◇計根別集落：草地6,841ha
(農地維持、資源向上)

町産食材の消費拡大のための経費

(農林課)

145万円

町145万円

牛乳消費拡大推進委員会負担金(100万円)

牛乳の消費拡大と乳製品食文化の普及のため、牛乳消費拡大推進委員会の事業を応援します。（イベント等会場での牛乳・乳製品のPR販売、牛乳消費拡大応援条例PR 他）

地産地消推進協議会負担金(45万円)

地元農畜産物の地域での積極的な活用に向け、生産者・関係機関と連携して取り組みます。（中標津丸ごと給食他）

【農業の振興】

新規就農者対策事業 (農林課)

3,643万円
町2,618万円

新規就農者育成支援事業 (3,580万円)

- 新規就農者に対する担い手育成として、費用の一部負担などの支援を行います。本年度は、新規就農2戸に対して支援します。
- ・新規就農者対策事業補助金：新規就農者への補助金（1件当たり400万円以内）
 - ・農地保有合理化事業利子補給金：新規就農者の農場リース資金利子補給
 - ・農業農村活性化資金貸付金：新規就農者の生活及び経営安定資金貸付（無利子）
 - ・農業次世代人材投資事業補助金：就農後（5年）の所得を確保するための給付金

新規就業・就農PR事業 (64万円)

新規就農者の確保のため、全国規模の総合就農相談イベント「新・農業人フェア」に参加し、就業・就農に向けたPR活動や移住相談を実施します。

農業基盤整備のため の負担金 (農林課)

1億4,418万円
町4,814万円

◇農地整備

- ・俵橋第2地区 (2,340万円)
道事業費：1億400万円
舗装475m、防雪柵424m
- ・南1号第2地区 (1,114万円)
道事業費：4,950万円
法面保護工294m、
大型視線誘導標78基

◇草地整備

- ・計根別北部地区 (2,750万円)
道事業費：1億1,000万円
草地整備179.6ha、
草地造成2.2ha、測量試験
- ・中標津中部地区 (7,254万円)
道事業費：1億3,554万円
草地整備150ha、
ふん尿散布機整備2台



◇農道整備

- ・協和30線地区 (9,600万円)
道事業費：1億9,200万円
調査設計

町営牧場特別会計 (農林課)

8,510万円

町営牧場は、町の基幹産業である酪農の生産コスト低減や労働力の軽減などを目的に人工授精牛を中心とした夏期預託放牧事業を行っています。

- ◇放牧対象：生後6ヶ月以上の乳用牛（延入牧頭数15万4,543頭）
- ◇放牧期間：5月25日～10月21日予定（150日間）
- ◇開陽台牧場の草地の生産機能の低下に伴い、草地の基盤整備と付帯施設の整備を平成27年度から6年間の計画で実施しています。

- ・草地整備72ha、隔離障壁1,336m、パドック整備、衛生舎整備、函渠工、雑用水施設整備 他 事業費：1億3,800万円（町負担額3,450万円）

【林業の振興】

森林管理・保護の ための経費 (農林課)

7,008万円
町2,865万円

《森林所有者への補助》

森林整備事業補助 (630万円)

公共補助事業による民有林整備の自己負担分への補助。

未来につなぐ森づくり推進事業補助 (575万円)

公共造林事業により実施した植林について、所有者の負担軽減のための補助。

森林環境保全直接支援事業 (5,624万円)

面的なまとまりをもって持続的な森林経営をする森林所有者へ、施業種ごとに統一的な工程を設定し支援。

《森林保護・整備事業》

環境林整備事業 (105万円)

過去10年間に公有林化された山林の針広混交林化支援
農業者との河川環境保全に向けた広葉樹植樹活動

緑化推進事業 (74万円)

町植樹祭（旧開陽牧場跡地[開陽]）5月20日、
赤ちゃん誕生記念植樹（森林公園）5月27日



新 道立林業大学校根室管内 誘致のための経費 (農林課)

50万円
町50万円

昨年10月に「道立林業大学校・根室管内誘致期成会」を設立し、根鉤が一体となった期成会として地域林業の担い手不足の解消、地域の酪農・水産・林業の共存共栄による地域経済の発展のため、誘致活動を行っています。

【商工業の振興】

中小企業振興基本条例 推進事業 (経済振興課)

38万円
町38万円

地域中小企業への施策の推進や地域経済の活性化等を目的とする中小企業振興基本条例に基づき、具体的な施策などを検討します。

※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。

商工業活性化のため の経費 (経済振興課)

140万円
町75万円

まちなか賑わい推進事業補助 (130万円)

中心市街地活性化イベントへの補助（まちなか賑わい秋の陣・清流物語）

企業誘致推進事業 (10万円)

中標津の素材を活かした首都圏からの企業誘致を推進するため情報収集を行います。

農業農村活性化資金貸付金

4,000万円
町30万円

農業経営の改善や合理化、生産性の向上、生活環境の整備、農村生活の安定を促進するため、農家個人・農業集団へ無利子資金の貸付を行います。



農業関係資金に対する 利子補給 (農林課)

781万円
町342万円

◇畜産特別資金利子補給

（大家畜経営改善支援資金・大家畜特別支援資金・畜産経営維持緊急支援資金・畜産経営改善緊急資金）

◇農業経営基盤強化資金（スマート資金）

◇畑作物冷湿害資金 (畑作農家冷湿害被害に対する畑作物冷湿害資金)

バイオガス導入促進の ための経費 (農林課)

14万円
町14万円

バイオガス導入推進は、家畜ふん尿臭気対策はもとより、循環型農業の推進となる良質な液肥や再生可能エネルギーの生産を視野に入れ、酪農関係者への理解促進を図ります。

◇バイオマス利活用検討協議会負担金他

木材利用推進事業 (農林課)

17万円
町17万円

地域の優良カラマツ材の公共建築物等への積極的な利用検討を行い、伐期を迎えた大口径カラマツを“地域材”として有効活用し、木材の利用推進を図ります。

◇木材利用フォーラム開催 等

町有林間伐促進型CO₂ 排出削減対策事業 (農林課)

33万円
町33万円

町では間伐事業等で得られる二酸化炭素吸収量の利活用として、「J-クレジット制度」を利用したクレジット販売により得られる資金を次の間伐や植栽に充てる「カボンオフセット」に取り組んでいます。

クレジット販売のため、PR活動や企業との個別交渉に取り組みます。

新 林地台帳整備事業 (農林課)

57万円
町29万円

民有林では所有者の高齢化や世代交代が進んでおり、所有者や境界の特定が困難になるおそれがあることから、林地台帳と地図（森林情報管理システム）の整備を行います。

【商工業の振興】

特産品PR強化事業 (経済振興課)

46万円
町46万円

地元特産品の付加価値を高め、「なかしへつブランド」として町外へ発信・販売促進を図るため、各種イベントへの参加や観光プロモーションとの一体的な取組みを支援します。
◇なかしへつブランドPR事業、特産品PR事業支援 他

ふるさと応援制度 推進事業 (企画課)

5,731万円
町5,731万円

ふるさと納税の寄附者に対して特産品等を送り、全国へ中標津をPRするとともに地域経済の活性化を図ります。

また、ふるさと納税寄附申込みサイトへの返礼品の掲載や特集記事を掲載し、PRの強化を図るとともに、寄附者とのつながりを継続する取組を実施します。(ふるさと応援ツアード)



商工業に対する支援 (経済振興課)

1,260万円
町1,260万円



中小企業融資保証料補助 (560万円)

中小企業運営資金貸付金の借入れに伴う、
北海道信用保証協会への保証料への補助。

中小企業応援事業補助 (250万円)

既存企業の店舗や設備等を改修する費用を一部補助。
【都市計画区域内】30万円、【都市計画区域外】20万円

空き地空き店舗等活用事業 (250万円)

都市計画区域内の用途地域内で、空き地空き店舗等を活用し
創業する起業家の支援として、開業関連経費の一部を補助。

商工会青年部・女性部対策事業補助 (27万円)

商工業の若手後継者育成・資質向上活動に対する補助。

商工業振興推進補助 (173万円)

商工会が実施する商工業振興推進事業に対する補助。
(地域商店街活性化対策、雇用向上育成対策 など)

【観光の振興】

拡観光振興のための経費 (経済振興課)

2,805万円
町2,603万円



観光イベント・観光諸行事のための経費 (1,008万円)

民間団体実施の「じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場」への補助や、なかしへつ
夏祭り・冬まつり、標津岳・武佐岳山開きなど観光行事開催のための経費です。

広域連携観光PR事業 (272万円)

自治体・観光協会・商工会などの団体で構成し、広域観光に取り組む団体への負担
金です。(根室観光連盟、阿寒摩周国立公園広域観光協議会)

根室管内教育旅行誘致推進協議会負担金 (100万円)

根室地域への教育旅行誘致を推進するため、1市4町で組織された根室管内教育旅行
誘致推進協議会への負担金です。

《拡充》地域おこし協力隊設置事業 (1,420万円)

都市地域に住む人材を地域の新たな担い手として招き、主に観光分野の活動を通じ
て外部目標による新たな観光資源の発掘やPR活動などにつなげます。(協力隊員3名)

《新規》ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業 (5万円 ※町対応経費分のみ)

国と根室観光連盟の広域連携による訪日プロモーション事業です。台湾のパワーブ
ロガーを招き、根室管内の魅力を台湾へ発信します。

【観光の振興】

空港利用促進対策事業 (空港対策室)

2,042万円
町1,472万円

路線の維持・拡大に向けた取り組みのほか、
中標津空港の更なる利用促進に取り組みます。
◇空港利用促進期成会負担金 他

(航空会社や地元関係団体などと連携した
利用促進事業、要請・普及啓発活動 他)



【雇用対策の推進】

雇用確保対策のための経費 (経済振興課)

324万円
町324万円

季節労働者冬期就労対策事業・通年雇用促進協議会負担金

季節労働者の雇用確保・就職促進への取組みのため、
通年雇用促進協議会への負担金の他、冬期に失業する季節労働者を対象に道路清掃・除雪作業等を依頼し、雇用の拡大と生活の安定を図ります。

実践型地域雇用創造事業

雇用失業情勢の厳しい地域において、地域関係者の創意工夫や発想を活かし、雇用創出を図るため厚生労働省から委託された事業です。昨年度で委託期間は終了し今年度はフォローアップ調査や実績報告を行います。

新 地方版図柄入りナンバープレート 導入事業 (税務課・経済振興課)

202万円
町202万円

根室地域・オホツク地域の広域連携により、自動車等に「知床」の名を表
示した図柄入りナンバープレートをデザイン公募により導入します。
また、原動機付自転車(50・90・125cc)に町独自の図柄入りナンバ
プレートをデザイン公募により導入します。《ふるさと納税活用事業》

基本目標4 ~利便性のある調和のとれたまちづくり~

【計画的な土地利用と市街地整備の推進】

拡都市計画マスタープラン 策定のための事業 (都市住宅課)

477万円
町459万円

都市計画マスタープランに基づく地域別構想の啓発や、地域
づくり活動への補助を行います。また、2021~2040年度までの
計画期間となる第2次都市計画マスタープラン策定業務に取り
組みます。

【道路・交通網の充実】

橋梁の点検・修繕に かかる経費 (建設管理課)

5,428万円
町2,188万円

橋梁長寿命化修繕事業 (5,400万円)

町が管理する橋の老朽化に対応するため、予防的な修繕や
計画的な架替えによる長寿命化を図ります。

◇橋梁補修 (北1丁目橋、東橋)

「明日に架ける橋」プロジェクト事業 (28万円)

中標津建設業協会との協働事業として、橋梁点検の特殊技
能・知識の習得のため講習会を開催し、通常点検や災害時の
緊急点検に備えた技術力の向上を図ります。

※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。

【景観形成の推進】

景観形成推進のための経費 (都市住宅課)

623万円
町623万円

景観計画推進に向けた協働の景観まちづくり啓発活動や、景観形成
団体が実施する事業の補助を行います。《ふるさと納税活用事業》

◇協働の景観まちづくり推進 (ワークショップ・フォーラム開催)、
景観学習、景観形成推進事業補助

生活等バス運行の ための経費 (生活課)

8,200万円
町3,316万円

地域住民の生活の足を確保するため、町有バス3路線の運行と共に、
民間バス事業者への補助を行います。

◇町有バス運行経費 (保育園線・武佐線・養老牛線)

◇生活交通路線維持費補助 (市内循環線・釧路路～標準線)

◇標準線代替輸送連絡調整協議会負担金 他

(バス運行経費、車両更新経費)

◇路線バス利用体験事業 (阿寒バス市内循環線・町有バス)

【道路・交通網の充実】

道路整備事業（改良・舗装） (建設管理課)

7億5,710万円
町6億6,110万円

（市街地）

- 南9丁目通整備事業 改良・舗装240m、土地購入 他（東2条通～東5条通間）
南町団地南11丁目通整備事業 改良・舗装198m、土地購入 他（道道保落西5条線～南町西7条通間）
市街地道路簡易舗装事業 測量設計1路線、簡易舗装1路線370m 他
（郊外地）
俵橋南3号道路整備事業 改良300m、舗装310m、境界杭埋設 他（俵橋18線付近～16線付近）
豊岡35線道路整備事業 改良・舗装320m（北1号付近～0号付近）
武佐南7線道路整備事業 改良478m、舗装50m、用地測量570m 他（南7線～南8線付近）
55線道路整備事業 改良302m、舗装722m（北24号～道道養老牛虹別線間）
保落30線道路整備事業 改良・舗装350m、用地測量740m、土地購入 他
（28線道路～29線道路間）
西竹38線連絡道路整備事業 改良・舗装350m、土地購入 他（北20号～北21号間）
開陽26線道路整備事業 路線測量・実施設計1,650m、用地測量1,120m
（北8号道路～北11号道路間）
西竹48線道路整備事業 路線測量・実施設計2,900m、用地測量1,240m
(道道上武佐計根別停車場線～46線道路間)

道路等維持管理のための経費（建設管理課）

1億9,840万円
町1億9,839万円

町道・市街地の排水路などの維持管理のための費用です。

- ◇道路維持補修（草刈、道路補修、郊外区画線設置 他）
- ◇市街地排水設備整備（排水路補修 他）
- ◇街路維持補修（町道・雨水枡清掃、街路補修・舗装 他）
- ◇道路周辺等環境整備（路肩草刈、枝打ち、側溝清掃 他）

新 土砂仮置場整備にかかる経費（建設管理課）

500万円
町500万円

土木工事などで発生した土砂を一時的に保管する土砂仮置場のスペースが限界を迎えていたことから、新たな搬入路を整備しスペースを確保します。



除雪・防雪にかかる経費 (建設管理課)

3億4,846万円
町2億6,421万円

新たな降雪量が概ね10cmに達した際に、バス路線等の主要幹線・通学路や集乳路線から順次除雪を行なうほか、必要に応じて主要幹線及び通学路を中心に運搬排雪を行ないます。

また吹雪による視程障害や吹き溜まりなどを防ぎ、車両の安全走行を確保するため、防雪柵を設置します。

- ◇除雪経費、除雪体制強化経費（車両位置装置・防雪柵設置等）
- ◇除雪機械購入（除雪トラック1台、小型ローラー1台、格納庫3棟測量・実施設計・地質調査）
- ◇養老牛北28号道路防雪柵 柵設置80m（55線～56線付近）
- ◇上標準津北14号道路防雪柵 柵設置446m（道道養老牛計根別停車場線～53線付近）
- ◇武佐北11号道路防雪柵 路線測量・実施設計2,800m（道道開陽川北線～19線道路間）

【情報化の推進】

新 郊外地域無線プロトバンド 整備にかかる経費（経済振興課）

700万円
町700万円

郊外地域全体のインターネット環境改善のため、開陽台及び東西基地局（武佐・養老牛）のアンテナを増設します。



【住宅施策の推進】

公営住宅整備事業 (都市住宅課)

7億2,901万円
町3億7,650万円

まちなか居住の推進と良好な住環境の形成を図るため、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化している町営住宅の建替え工事を進めています。

現在は旭第2団地・泉団地を整備しており、今年度から東中団地の建替え事業に着手します。

- ◇旭第2団地（4,000万円）外構改良舗装工事（3号棟・4号棟）
- ◇泉団地（6億7,401万円）建築主体工事、外構改良舗装工事 他
- ◇東中団地（1,500万円）基本設計、解体工事設計

【公園・緑地の充実】

公園整備事業 (建設管理課)

2億2,085万円
町1億4,055万円

丸山公園整備事業（1億8,570万円）

スポーツを通じて市民の健康寿命を延ばし、生涯現役のまちづくりを目指すため公園内のスポーツ施設を整備します。
◇テニスコート整備（全天候型人工クレイコート3面、練習コート、照明設備）、公衆便所水洗化

都市公園整備事業（3,515万円）

利用者の安全性確保・向上のため、公園の遊具等を計画的に整備します。



基本目標5 ～安全・安心で快適なまちづくり～

【消防・防災の充実】

消防・救急体制の強化 (中標津消防署)

3,057万円
町3,057万円

消防ポンプ自動車更新（2,940万円）

老朽化により消防ポンプ性能・エンジン出力が低下している消防ポンプ車（中標津消防団第1分団配備）を最新の車両に更新し、火災防ぎ活動の維持を図ります。

消防栓本体取替・移設工事（117万円）

消防水利の空白領域を解消するため、計画的に消防栓を設置します。また、道路拡張工事の障害となる消防栓を移設します。

- ◇本体取替：西1条南4丁目
- ◇本体移設：西町3丁目



防災対策・危機管理対策 にかかる経費（総務課）

2,041万円
町1,427万円

町民の防災力向上と防災意識の啓発を図るため、町・関係機関・町民等が一体となった防災体制の確立に努めます。また、住宅の耐震改修工事費用の一部を補助し、耐震化率の向上を目指します。

- ◇防災備蓄品・防災資機材整備、防災の日啓発、Jアラート更新、洪水ハザードマップ作成、災害情報共有システム導入《ふるさと納税活用事業》 他
- ◇住宅の耐震工事費用に対する補助（昭和56年5月31日以前着工住宅）



※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。

7

河川整備にかかる経費 (建設管理課)

1,590万円
町1,590万円

増水時に民有地や橋脚部分の土地を洗掘し被害を与える恐れがある護岸の整備を実施します。

- ◇ポンタワラ川改修事業
かごマット護岸30m
- ◇橋梁護岸改修工事（荒川西竹3号橋）
根固ブロック・ふとんかご設置

新：新規事業 拡：拡充事業 町：町負担額

【防犯・交通安全の充実】

安全で住みよいまちづくり のための経費（生活課）

2,621万円
町2,620万円

安全で住みよいまちづくり推進協議会運営経費（226万円）

安心して暮らせる、安全で住みよい地域社会の実現に取り組みます。
◇町内会・学校・警察等との連携（情報収集・発信）、安全活動
の推進（防犯・交通安全啓発）、嘱託員の配置（相談・緊急通報等）

防犯対策経費（1,347万円）

近年、悪質・巧妙化する犯罪の未然防止に努めます。
(防犯灯維持1,992灯、防犯啓発、町防犯協会補助)

交通安全対策経費（1,048万円）

交通安全対策として、指導員の配置など啓発活動に取り組みます。
◇交通安全啓発、指導員設置（専従4名・一般14名）、交通安全灯維持
(162灯)、交通安全啓発用品等整備、交通安全協会等への補助

【消費者対策の推進】

消費者対策のための経費 (生活課)

592万円
町294万円

消費生活活動経費（561万円）

消費生活の安全性の確保に向け、消費生活相談員の資質向上と相談体制の充実・強化を図り、消費者被害の未然防止に努めます。

◇被害防止啓発、相談業務、消費者協会補助 他

無料法律相談開設経費（31万円）

町民が弁護士に無料で相談できる法律相談を、隔月で年6回開催します。



【環境保全の推進】

有害鳥獣対策のための経費

（農林課）

673万円
町624万円

有害鳥獣の駆除に伴う処理・運搬費用などを負担します。また、関係団体への補助を行います。

◇エゾシカ駆除報償金（900頭分）、
駆除処理・運搬費用負担、熊・カラス
駆除経費、獣友会中標津部会補助金

【循環型社会の形成】

ごみ処理・対策に かかる経費（生活課）

7億399万円
町6億1,059万円

一般廃棄物処理経費（2億2,533万円）

一般廃棄物の収集・処理委託費及び最終処分場の維持管理経費、
指定ごみ袋作成経費、広域連合焼却施設への可燃ごみの運搬経費です。



根室北部廃棄物処理広域連合負担金（4億7,135万円）

根室管内4町で構成している広域連合への負担金です。

ごみ減量・リサイクル促進のための経費（732万円）

ごみ分別収集の実施や分別排出の啓発、生ごみ減量化の促進に取り組みます。

【上・下水道の再整備】

水道事業会計 (上下水道課)

8億7,355万円

◇水道事業

上水道区域（主に市街地）へ給水。給水戸数9,900戸
◇配水管整備（5,104万円）
南9丁目通配水管改修工事105m（南10丁目東3～東5条）、
西町通配水管改修工事260m（西町3～5丁目） 他
◇上水道導水管改修工事（1億5,050万円）
用地測量352m 改修工事1,430m（32線北22号～北24号）
◇浄水場施設整備事業（1億5,400万円）
急速ろ過池機械設備更新・施工監理、
薬液注入電気計装設備増設工事 他

下水道事業特別会計 (上下水道課)

10億7,779万円

◇下水道事業

下水道整備面積886.5ha、日最大処理能力11,425m³
◇下水道管路施設補修工事（680万円）
不明水対策（旭・東地区、人孔・污水樹）
◇農業集落排水事業（900万円）
計根別浄化センター（沈殿槽室流量調整ポンプ更新、
前処理室原水ポンプ更新）、最適整備構想策定
◇公共下水道事業（3億1,198万円）
下水終末処理場設備更新、ストックマネジメント計画策定 他
下水道管移設工事（西町通 西町3～5丁目）、
公共污水樹設置 工事16箇所（中標津市街地）

簡易水道事業特別会計 (上下水道課)

6億514万円

◇簡易水道事業 簡易水道区域（主に郊外地域）
へ給水。給水戸数1,056戸
◇GIS管路データ構築業務
56,000m、給水戸数249戸（計根別地区他）
◇漏水調査業務（開陽地区10km）
◇配水施設整備事業（1億1,235万円）
西竹38線連絡道路配水管改修工事590m
計根別第7支線配水管改修工事985m 他

◇浄水施設更新事業（7,100万円）

第2号緩速ろ過池更生工事、
監視用テレメーター更新実施設計
(計根別・開陽子局) 他

◇道営畠地帯総合整備事業負担金 (ヶ替地区)（1億4,731万円）

道事業費：3億9,156万円
配水系管路改修6,700m、給水管接続 他



◇道営畠地帯総合整備事業負担金（西竹地区）（5,331万円）

道事業費：1億7,785万円 実施設計 他

基本目標6 ～人が輝き歴史と文化を育むまちづくり～

【学校教育の充実】

幼児教育のための補助 (学校教育課)

5,901万円
町4,489万円

私立幼稚園補助（398万円）

私立幼稚園の経営健全化・教育条件の維持向上を図るために補助です。

義務教育保護者負担軽減 にかかる経費（学校教育課）

4,610万円
町4,377万円

幼稚園就園奨励費補助（5,503万円）

私立幼稚園に就園している3～5歳児の保護者の負担軽減のため、保護者の所得状況などに応じて補助を行います。

義務教育扶助費（小・中学校）（4,258万円）

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し扶助を行います。

義務教育保護者負担軽減経費（小・中学校） (352万円)

小学生1人当たり1,480円、中学生1人当たり1,980円の副教材費等を負担します。

新 教育指導主事配置 のための経費（学校教育課）

1,185万円
町1,185万円

教育施策にかかる企画・立案、学習指導・生徒指導に関する指導・助言などをを行う教育指導主事を新たに配置し、学校を支援する体制を強化します。

育英資金貸付事業 (教委管理課)

555万円
町344万円

義務教育の課程を修め、学術優秀で向学意欲ある町民が義務教育以上の教育を受ける場合に学資の貸付を行います。また、入学一時金の貸付制度も行います。

【学校教育の充実】

図 児童生徒の教育環境整備のための 経費 (教委管理課・学校教育課・生涯学習課)

教育力向上推進事業 (307万円)

◇学力向上推進事業

小中学校の児童生徒の学力向上に向け、全小中学校標準学力調査(CRT)を行い、児童生徒の学力を把握し、学習指導・授業改善に役立てます。

◇小中一貫校推進事業

全小中学校へ小中一貫教育を導入するため、既に導入している計根別学園における課題を検証すると共に指導方法等の実践研究をします。

◇コミュニティ・スクール運営

全小中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入し、学校と保護者、地域住民等が一体となって学校運営改善や児童生徒の健全育成に取り組む環境を整えます。

特別支援教育支援員配置経費 (2,444万円)

要養護児童・生徒の学習や学校生活の介助・安全確保のため支援員を配置します。(丸山小5名、中小2名、東小4名、中中2名、広陵中2名)

図 農業高校生徒の修学支援 のための経費 (農業高校)

5,082万円
町4,614万円

就学環境支援対策事業 (1,307万円)

町の基幹産業である農業の担い手として生徒を確保するため、生徒や保護者に対し各種支援を行います。

- ・通学費全額補助(片道6km以上の路線バス及び自家用車送迎通学生徒)
- ・実習服購入費全額助成
- ・資格検定料全額助成(必須資格)
- ・給食導入
- ・冷房設備設置(食品加工室ほか)
『ふるさと納税活用事業』



【生涯学習の推進】

生涯学習推進のための経費

(生涯学習課)

1,304万円
町1,304万円

生涯学習だよりの発行や生涯学習研修講座、成人式開催等のための経費です。また、児童生徒のスポーツ・文化活動で遠征する団体・個人に対して、遠征費用の一部補助を行います。

【スポーツの振興】

スポーツ合宿誘致推進 事業 (生涯学習課)

235万円
町145万円

スポーツ推進・振興事業 (28万円)

町内で合宿活動を行う町外スポーツ団体を通じて、町民のスポーツ振興と競技力向上を図るために、合宿団体への支援品支給のほか、スポーツ教室を開催します。

日本体育大学連携協定推進事業 (208万円)

日本体育大学の「ラグビー部」合宿を受け入れ、連携協定の推進を図ります。

4,552万円

町4,324万円

〔拡充〕語学指導等外国青年招致事業

(1,084万円)

学習指導要領改訂により、小学校英語学習の教科化や授業時間が拡大するため、英語指導助手(AET)を2名体制にし、児童生徒の英語力向上を図ります。

児童生徒の安全安心サポート事業 (117万円)

児童生徒が抱える諸問題に対応するためスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置します。

また、学校・通学路の安全確保のため、スクールガードリーダーの学校巡回指導を行います。

学校支援地域本部事業 (3万円)

地域全体の学校活動支援として、ボランティアを派遣します。

小学校遊具整備事業 (598万円)

中標津小学校の老朽化している小学校遊具を撤去・新設します。



スクールバス等運行の ための経費 (学校教育課)

1億2,853万円
町1億2,853万円

小中学校の統廃合に伴う児童・生徒の通学のため、スクールバスなどを運行します。

◇スクールバス・ハイヤー13路線、
教育振興車輌運行

児童生徒の健康推進 のための経費 (学校教育課)

1,653万円
町1,618万円

児童生徒の健康増進のため、健康診断を実施するほか、小学校等へのフッ化物洗口を実施します。

農業高校クラブ活動への補助 (152万円)

農業クラブのイベント参加・研究発表大会の遠征経費のほか、部活動の遠征費の一部を補助します。(食彩フェア、ガーデニングコンテスト、部活動遠征費補助 他)

学校給食のための 経費 (給食センター)

1億8,989万円
町5,179万円

今年度より給食費が改定しています。また農業高等学校での給食を開始します。

◇保護者負担一食あたり単価
(小学生260⇒280円、中学生295⇒315円、農高生330円、幼稚園児278⇒295円)

【青少年の健全育成】

都市間児童生徒交流事業 (生涯学習課)

70万円
町70万円

友好都市「川崎市」との児童生徒交流を推進します。

◇小学生派遣(友好自治体交流会)、
小中学生受入(ふれあいサマーキャンプ)



教育相談センター運営管理 のための経費 (学校教育課)

465万円
町464万円

専門相談員2名を配置し、学校や家庭、関係機関と連携することにより、子ども達が抱える心の悩みについて相談を行います。

【文化・芸術の振興】

埋蔵文化財分布確認 調査事業 (生涯学習課)

79万円
町79万円

標津川9遺跡(西8条北5丁目)について、将来の土地利用のための試掘調査を行い、埋蔵文化財の分布範囲などを調査します。

『ふるさと納税活用事業』



社会教育施設運営・ 改修経費 (生涯学習課)

3億9,064万円
町3億9,064万円

総合文化会館・図書館・交流センターの運営管理について、指定管理者制度により(一財)中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。

◇総合文化会館改修(大ホール照明設備改修・舞台吊物装置改修)ほか

【スポーツ振興のための経費】

120万円

町70万円

本町で開催される各種スポーツ大会へ支援を行います。(第10回なかしべつ330°開陽台マラソン、第48回全道朝野球全日本早起き野球北海道ブロック予選、2018ロバソンCUP第50回全道(U-12)サッカーボーイズ大会)

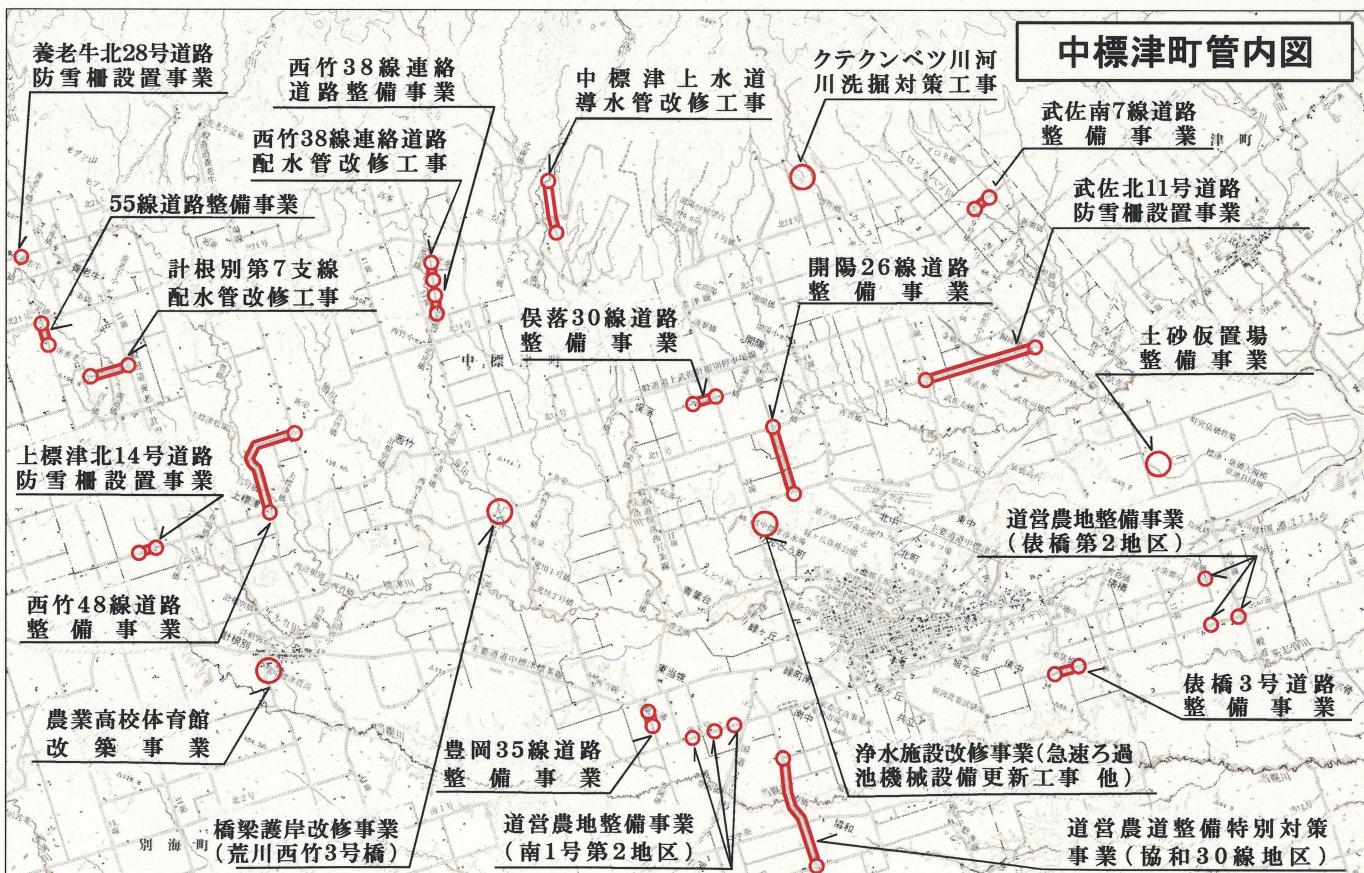
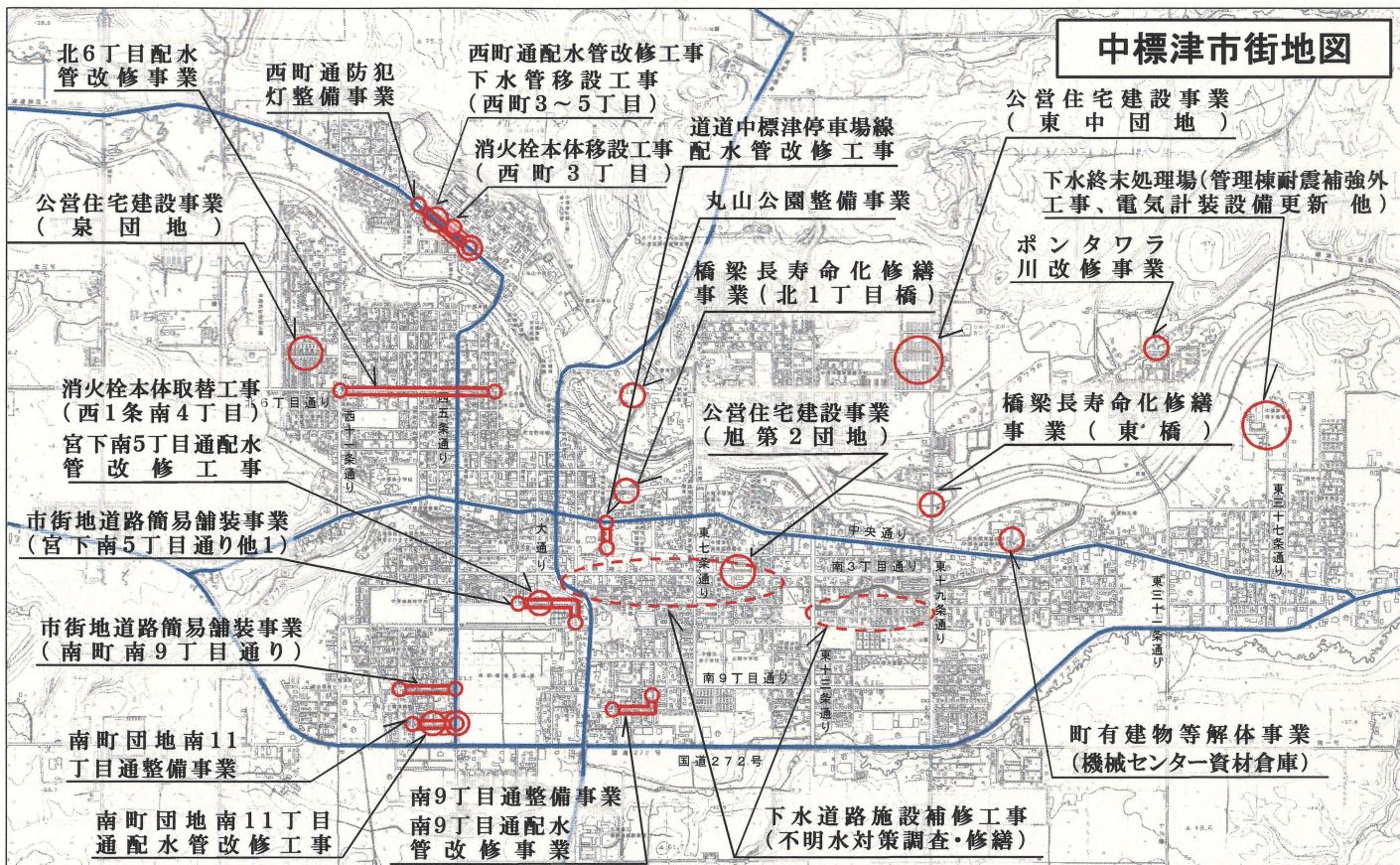
体育施設運営・改修経費 (生涯学習課)

1億9,348万円
町1億9,348万円

総合体育館・運動公園・武道館・プール・テニスコート・野球場の運営管理について、指定管理者制度により(一財)中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。

◇武道館改修(屋根塗装・トイレ改修)、温水プール高圧ケーブル交換





※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。

《資料》補助金・交付金の一覧

平成30年度に予定している補助金・交付金の種類と支出予定額を紹介します。

◆参画と協働で未来を築くまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|---------------|-------|-------|
| 返還運動団体補助金 | 270 | 企画課 |
| 全町内会連合会補助金 | 6,889 | |
| 会館運営費補助金 | 1,810 | 生活課 |
| 会館建設事業補助金 | 6,000 | |
| フロンティア事業推進補助金 | 500 | 経済振興課 |
| 計根別地域振興補助金 | 623 | |

(単位:千円)

| | | |
|-------------------|-------|-------|
| 商工会青年部・女性部対策事業補助金 | 268 | 経済振興課 |
| まちなか賑わい推進事業補助金 | 1,300 | |
| 商工業振興推進補助金 | 1,734 | |
| 空き地空き店舗等活用事業補助金 | 2,500 | |
| 観光協会補助金 | 7,567 | |
| 観光イベント補助金 | 175 | |
| 労働福祉対策事業補助金 | 400 | |
| 技能士会研修事業補助金 | 92 | |

◆健やかでやさしいまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|---------------------|--------|--------|
| 託老事業補助金 | 120 | |
| 老人クラブ運営事業補助金 | 1,924 | |
| シルバー人材センター運営事業補助金 | 4,808 | |
| 社会福祉協議会居宅介護事業補助金 | 6,466 | |
| 特定疾患等患者通院交通費補助金 | 1,011 | |
| フレンドリーサマーキャンプ事業費補助金 | 291 | |
| 社会福祉協議会補助金 | 36,157 | |
| 地域福祉事業推進補助金 | 97 | |
| 社会福祉関係団体等補助金 | 374 | |
| 民生委員・児童委員協議会交付金 | 1,604 | |
| 介護人材確保育成支援事業補助金 | 2,361 | 介護保険課 |
| 認可外保育所児童健康管理費補助金 | 726 | 子育て支援室 |
| 特定不妊治療費助成金 | 750 | 健康推進課 |

◆利便性のある調和のとれたまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|--------------|--------|-------|
| 生活交通路線維持費補助金 | 11,186 | 生活課 |
| 代替バス運行費補助金 | 378 | |
| 景観形成推進事業補助金 | 410 | |
| 地域まちづくり事業補助金 | 850 | 都市住宅課 |

◆力みなぎる産業のまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|-------------------|---------|-------|
| 多面的機能支払交付金 | 44,998 | |
| 中山間地域等直接支払事業交付金 | 280,858 | |
| 農業担い手対策補助金 | 65 | |
| 馬鈴しょ原種農場運営費補助金 | 7,200 | |
| 新規就農者対策事業補助金 | 8,000 | |
| 農業次世代人材投資事業補助金 | 9,750 | |
| 畜産特別資金利子補給金 | 2,310 | |
| 農業経営基盤強化資金利子補給金 | 5,339 | |
| 農地保有合理化事業利子補給金 | 45 | |
| 畑作物冷湿害資金利子補給金 | 162 | |
| 森林整備事業補助金 | 6,300 | |
| 獣友会補助金 | 200 | |
| 地域林業振興活動強化事業補助金 | 3,971 | |
| 未来につなぐ森づくり推進事業補助金 | 5,747 | |
| 中小企業応援事業補助金 | 2,500 | |
| 中小企業融資保証料補助金 | 5,600 | |
| 小規模事業指導補助金 | 18,156 | 経済振興課 |

◆安全・安心で快適なまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|------------------|-------|-----|
| 既存住宅耐震改修費補助金 | 700 | 総務課 |
| 防犯協会補助金 | 235 | |
| 交通安全協会等補助金 | 1,058 | |
| 暴力追放運動推進協議会補助金 | 57 | |
| ごみ減量リサイクル促進事業補助金 | 1,320 | |
| し尿処理手数料補助金 | 6,980 | |
| 消費者協会活動補助金 | 503 | |

◆人が輝き歴史と文化を育むまちづくり

| 補助金・交付金名 | 金額 | 担当課 |
|--------------------|--------|-------|
| 教育関係団体補助金 | 464 | 教委管理課 |
| 中標津高等養護学校後援会補助金 | 180 | |
| 校外指導連絡協議会等補助金 | 368 | |
| 中標津町特別支援教育推進委員会補助金 | 180 | |
| 体育活動補助金(中体連) | 70 | 学校教育課 |
| 私立幼稚園補助金 | 3,987 | |
| 幼稚園就園奨励費補助金 | 55,026 | |
| 農業クラブ補助金 | 160 | |
| スポーツ文化遠征費補助金(農高) | 700 | 農業高校 |
| 通学費補助金(農高) | 10,495 | |
| 家庭教育活動補助金 | 170 | |
| スポーツ文化遠征費補助金(社会教育) | 6,800 | |
| 文化スポーツ振興事業等補助金 | 1,037 | 生涯学習課 |
| 文化スポーツ振興事業補助金 | 1,283 | |

《発行》 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

空とみどりの交流拠点

中標津

～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～

《中標津町ホームページ》

URL <http://www.nakashibetsu.jp/>

メール nakasi-t@aurens.or.jp

携帯サイト <http://j.nakashibetsu.jp/>



この冊子は環境保護のため道産間伐材と古紙を配合した用紙を使用しています。